

あら、かわいい、まちづくり新聞

発行：荒川五・六丁目防災まちづくりの会
 編集：荒川区防災都市づくり部防災まちづくり推進課
 （協力：株式会社地域計画連合）

題字
前森英世副会長

通巻第58号 平成25年8月

災害に強いまちづくりに向けて

古い木造建物が密集している地域では、大規模な地震が起きた際に、建物が倒壊したり、火災が延焼するなどの危険性があります。

昨年4月に公表された東京都の被害想定では、区内の建物被害は以下の結果となっています。

「首都直下地震等による東京の被害想定報告書」東京都（H24.4）より

項目		荒川区	東京都
地震火災	出火件数	23件	811件
	焼失棟数（倒壊建物を含む）	5,521棟	約20万棟
建物被害	全壊棟数	7,217棟	約12万棟

※上記被害想定は、「東京湾北部地震（M7.3）（区内の最大震度6強、冬18時、風速8m/s）」を前提条件とした場合によるものです。

震度6強の地震が起こると・・・



- ・はわないと動くことができず、飛ばされることもあります。
- ・固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなります。
- ・耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが多くなります。



荒川区では、防災性の向上が必要な地域について、安全な避難経路の確保や延焼遮断帯の形成によって、震災の被害を最小限に抑えることを目的とした取り組みを実施しています。

引き続き、皆さまのご理解とご協力をお願いします。



グリーンスポットの整備を進めています！

荒川区では、今年度荒川五丁目内でグリーンスポット（広場）の整備を行います。

- 身近な庭として親しまれるような植栽を行います。
- 5t防火水槽やマンホールトイレ、防災井戸などを設置し、災害時に活用できるよう整備します。



※ 整備前



平成26年3月
整備完了予定



※ 整備イメージ（荒川五丁目グリーンスポット）

◆公園・広場等の整備について

区では、100㎡以上の空地で公園・広場等の整備を進めています。ご利用していない土地がありましたらご連絡ください。（ただし、場所等の条件がありますので、まずはお問合せください。）

《お問合せ先》 防災都市づくり部 防災街づくり推進課 防災街づくり係
 電話：3802-3111（内線2828） FAX：3802-4104

木造・非木造建物耐震化推進事業

大地震による倒壊等の恐れがある建物について、耐震性の向上を推進し、これにより区民の皆さまの生命と財産を守ることを目的としています。

当事業を活用する際は、まず「耐震診断支援事業」により耐震化が必要かどうかの診断を受けてください。

《お問合せ先》 防災都市づくり部 防災街づくり推進課 用地・耐震化係
 電話：3802-3111（内線2827） FAX：3802-4104



防災・減災まちづくりフォーラムのお知らせ

マグニチュード7クラスの首都直下地震が切迫する中、災害時の被害を最小限に食い止める「減災」への取り組みの重要性が高まっています。

11月23日（土）午後に、災害にいかに備えるか、地域の皆さんと一緒に考える「防災・減災まちづくりフォーラム」をアクロスあらかわに於いて開催予定です。ふるってご参加ください！

大地震発生！
そのときあなたは...



荒川五・六丁目地区のまちづくりに関するお問い合わせは

荒川区 防災都市づくり部 防災街づくり推進課 防災街づくり係（区役所6階8窓口） 藤井・大沼
 電話：3802-3111（内線2828） FAX：3802-4104

荒川五・六丁目地区の防災まちづくり



荒川五・六丁目の今...



● 老朽化した木造住宅が並ぶ



● 道路が狭く密集した地域

荒川五・六丁目地区は、古い建物が密集し、4m未満の幅員の狭い道路が多い地区です。

災害時の危険性

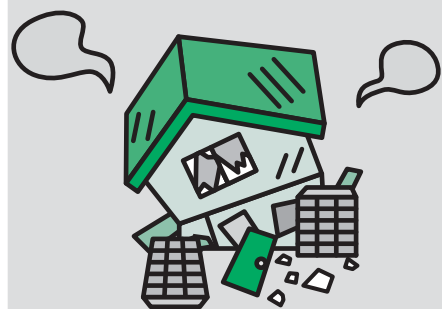
大きな地震が起こったら...



建物の倒壊

大規模な市街地火災

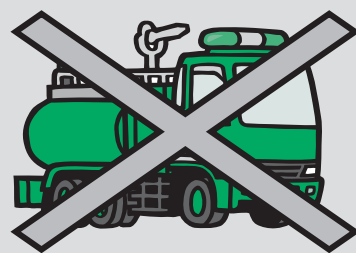
道路が塞がる



建物の倒壊



火災の延焼



緊急車両が入れない

災害時には、建物が倒壊したり、火災が燃え広がるおそれがあります。また、道路が狭いため、避難路の確保や緊急車両の進入が困難となり、被害が拡大するおそれもあります。

参考

マグニチュード7級の首都直下地震の発生する確率は、今後30年以内に70%とされています。



ご自身や家族の身を守るために

大規模な地震災害では、火災以外にもたくさんの危険があります。地震で住まいが壊れないよう、耐震化や家具の転倒防止など、災害で命を落とさないための対策が必要です。

また、災害が発生したときに備えて、避難経路や避難場所を確認しておくことも重要です。

区域（町会名）	一時集合場所	避難所
荒川宮地町会	京成線沿線道路上、峡田小学校	峡田小学校
荒川五丁目北町会	第四中学校	第四中学校
荒川五丁目銀成町会	京成線沿線道路上、第四中学校	第四中学校
荒川親交会	京成線沿線道路上、第九峡田小学校	第九峡田小学校
荒川六丁目西町会	第九峡田小学校	第四中学校
荒川六丁目南町会	第四中学校	第四中学校
荒川六丁目新地町会	第九峡田小学校	第九峡田小学校

※最寄りの広域避難場所は都立尾久の原公園一帯になります（大規模な火災発生時等に避難）。

災害時に一人の犠牲も出さないためには！



荒川五・六丁目を災害に強いまちへ

火災が発生しても燃え広がりにくくするためには、まち全体を燃えにくく災害に強いまちにしていくことが、住民の方々の生命を守ることにつながります！

●建て替え

建替えによって、延焼しにくいまちへ



老朽化した建物を燃えにくい建物や地震に強い建物へ建て替えることによって、倒壊や火災の延焼の危険性が下がります。

●道路拡幅・建物の耐震化



建替えによって広がる部分

●空地の確保

広場整備と同時に道路の拡幅を行った【荒川五丁目グリーンスポット】



道路が広がることで、火災の延焼を抑制したり、消防車や救急車が入れるようになり、まちの安全性が高まります。また、建物の耐震化も、道路空間を確保するために有効です。

道路や公園などの空地は、建て詰まりを解消する有効な手段です。公園などに緑を整備することで、火災への抵抗性が高くなります。

住民のみなさんと行政が力を合わせて、安全安心なまちをつくっていきましょう。